

平成26年度「比良山系山岳パトロール実施報告書」

作成日：27年 2月23日

パトロール実施日	平成27年 2月22日(日) 天候 曇り
山岳会名(団体名)	滋賀県高体連登山専門部(団体名)
参加人員 代表者名・人数	代表 上山 修(計4名) 他 北村 仁司、小林 広幸、森田 光治
実施コース (コースタイム) ・コース名に○印 ・具体的なコース (積雪状況等を含む)	<p>(実施ルートを詳細に記載して下さい。)</p> <p>・ A ○ B ・ C ・ D ・ E</p> <p>葛川坊村登山口 9:28 → (御殿山コース経由) → 御殿山 10:50 → (西南稜経由) ワサビ峠 11:05(昼食)11:25 → 武奈ヶ岳 13:10(休憩)13:20 → (西南稜経由) → 御殿山 13:55 → (御殿山コース経由) → 葛川坊村登山口 15:10</p> <p>◎ 登山口明王院から約 10 分も歩けば積雪が見られる。御殿山への急登では、積雪量は少ないものの雪面は非常に滑りやすいので要注意。トレースは明瞭で、登山道から外れることはないが、御殿山から明王院へ下る場合は、アイゼンが必要である。</p> <p>◎ 御殿山への稜線付近での登山道の積雪は、100～150cm程度。トレースが何本か付いているが、どのコースでも問題はない。しかし、雪が深く、足を取られるとラッセルが進まないため、時間的な余裕が必要。</p> <p>◎ 武奈ヶ岳山頂付近では、雪庇が発達しているため要注意。コースを外れることはなさそうだが、稜線では非常に風が強く、天気の急変にも十分な注意が必要である。</p>
(※) 登山届投函箱の 状況	<p>(修繕等が必要なもの、筆記用具・記入用紙の状況、錠前の状況など記載して下さい。)</p> <p>◎ 明王谷の登山口に設置してある登山届投函箱について、記入用紙も残部がやや少ないので、補充が必要。その他には特に問題はない。</p>
(※) 道標の状況	<p>(破損しているもの、比良ロープウェイ・リフト等の名称が表記されており、修繕等が必要なものを記載して下さい。)</p> <p>◎ 武奈ヶ岳山頂にある道標に比良ロープウェイの最終時間の記載が残っている。また、西南稜とコヤマノ岳方面との分岐にある道標にも同様の記載があり、見えなくした方がよい。</p>

<p>(※) レスキューポイントの状況</p>	<p>(表示板が破損していたり、取れかかっている箇所があったりすれば・場所名・標識No等を記載して下さい。 携帯電話の通信状態のチェック・メーカー・機種別を記載して下さい。)</p> <p>◎修繕等が必要なものは、無いように思われる。</p>
<p>(※) コースの状況</p>	<p>(橋の破損、通行止めの表示やロープの老朽化等の箇所があれば記載して下さい。)</p> <p>◎橋の破損等、危険箇所は特になし。</p> <p>◎パトロール実施日は、午後から天気が崩れるという天気予報もでていたので、パトロール当日の坊村からの登山者は全部で20人程度だった。</p> <p>◎今週に入って数日間は気温が高い日が続くという予報が出ているので、特に雪崩が発生しやすく、十分に注意が必要。十分な装備の携行とゆとりのある登山行動に心がけたい。また、湿った雪質なので、アイゼンにダンゴが出来やすく、ピッケルまたはストックも持参した方がよい。</p>
<p>(※) その他</p>	<p>(コースがわかりにくく新たに道標が必要と思われる箇所、その他危険なため、何らかの対策が必要と思われる箇所等があれば記載して下さい。)</p> <p>◎武奈ヶ岳山頂付近は、雪庇がかなり発達しているので、特に注意が必要。</p> <p>◎コースを大きく外れることの無いようGPS等を携行した方がよい。</p>
<p>単独登山者に ついて</p>	<p>(・年齢・男女の区分・登山コース・その他等を記載して下さい)</p> <p>◎パトロール当日の登山者が少なかったこともあり、単独登山者はそう目立たなかった。</p> <p>◎1月末から消息の分からない登山者に対する情報提供をお願いしたいと、坊村登山口にて、その知人たちが呼びかけをされていた。</p>
<p>登山者への指導 等</p>	<p>(登山者の様子&状況、登山者への指導等をされた場合はその概要を記載して下さい。)</p> <p>◎登山者の年齢層は、中高年者が多いが、冬山の装備は準備していた。</p> <p>◎登山者の数は少なかったが、どの登山者も比較的早い時間に下山を開始していた。</p>